

# 京都芸術劇場ニュースレター

京都芸術劇場15周年

# 15

anniv.

さらなる実験と冒険へ



10月8日(土)~11日(火)

春秋座大歌舞伎 獨道中五十三驛

## 化け猫の宙乗りと早替り舞踊

このお芝居は、もともと趣向本位につくられた作品ですが、今回は「化け猫」と「早替り舞踊」の見せ場中心に構成されています。ストーリーに重きを置かれてはいませんので、難しく考えずにおたのしみください。

二幕目は、歌舞伎に昔から伝わる化け猫もので、今どきのホラーとは異なる点が興味深いでしょう。不気味な古寺に住む老婆が、ねずみの歳としの生まれの村の女や、魚の油に対して怪しい反応を見せませす(ねずみや魚は猫の好物ですね)。深夜、行灯の油をなめる影は猫の影！身の軽い猫そのものに天井を駆けたり飛び降りたり、そして村の女を喰い殺し手水鉢で洗う口は耳まで裂けています。最後はポスター・チラシの写真どおりの凄まじい形相に、ありあわせた十二単ひとえを着て、客席の上を飛び去るという「宙乗り」にご喝采ください。

大詰おおづめ(最終幕)の舞踊では十三の役柄を、長吉→お半→長吉→芸者雪野→お関→弁天小僧→道哲→お絹→鳶頭→雷→船頭→お半→長吉→お半→長吉→江戸兵衛→長吉→江戸兵衛→お六→丹波与八郎と、十九回の早替りで踊り分けます。衣裳、かつら、履物、小道具まで秒単位で替るテクニックには目を奪われることでしょう。背景も小田原からお江戸日本橋まで役者と一緒に早替りです。

この部分は鶴屋南北の原作にはなく、同じ作者の『お染の七役』をもとに、三代目猿之助(現・猿翁)が作りしました。

歌舞伎は初めてというお客様でも理屈抜きで楽しめるお芝居です。どうかご期待ください。

石川耕士 補綴・演出

早稲田大学卒業。劇団文学座を経て、スーパー歌舞伎第一作『ヤマトタケル』より三代目猿之助の演出部として参加。猿之助歌舞伎全般の脚本・演出を手掛ける。2004年芸術選奨文部科学大臣新人賞。四代目猿之助とは『蜘蛛絲絃』『風林火山』『男の花道』『上州土産百両首』『雪之丞変化』などの脚本・演出で協力。

## 特集

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム  
春秋座大歌舞伎

— 1P・2P

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 AUTUMN  
「水の駅」シャンカル・ヴェンカテーシュワラン/シアター・ルーツ & ウィングス

— 4P

鼓童 ワン・アース・ツアー 2016 ~ 螺旋

— 5P

京都造形芸術大学 40周年・京都芸術劇場 15周年記念フォーラム  
猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界

— 8P

# 京都芸術劇場ニュースレター——特集

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

## 春秋座大歌舞伎

## 三代猿之助四十八撰の内 ひとりたびごじゅうさんつき 獨道中五十三驛

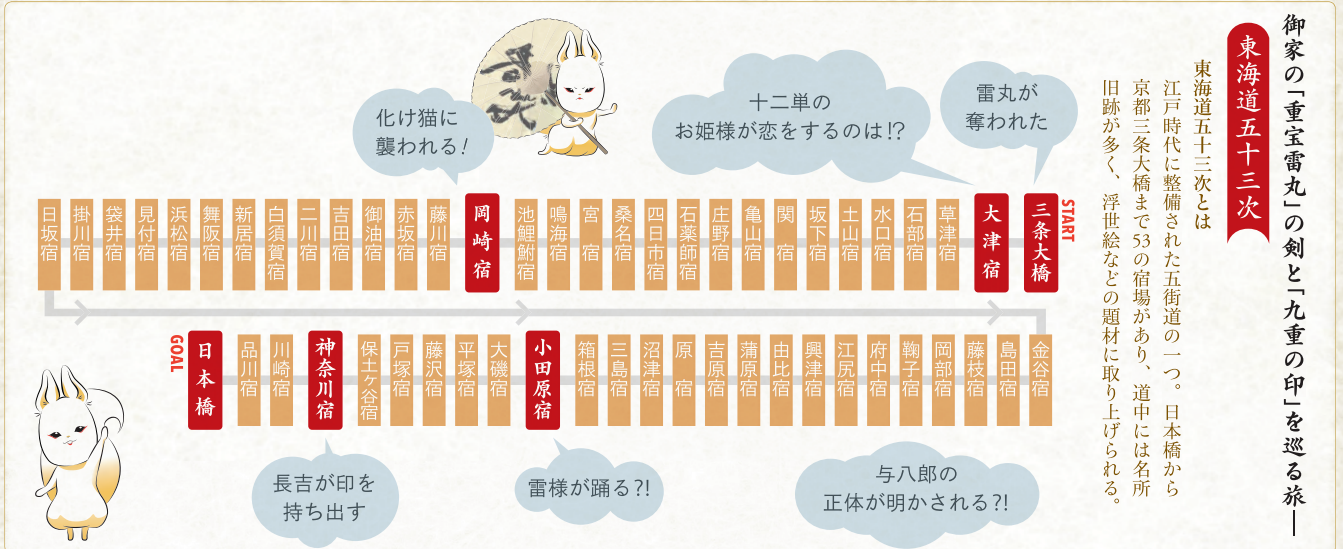
10月8日(土) 11:00/16:00  
9日(日)~11日(火) 11:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

文政10(1827)年6月に江戸河原崎座で初演された『獨道中五十三驛』は四世鶴屋南北の作で、当時流行していた十返舎一九の『東海道中膝栗毛』に着想を得て、東海道五十三次を舞台に御家騒動と仇討を軸に描いた大作です。昭和56(1981)年に三代目市川猿之助(現猿翁)が復活上演。スペクタクルに溢れた舞台は大ヒットとなりました。再演ごとに改訂を加え磨き上げられ、「三代猿之助四十八撰」の中でも人気狂言の一つとなっています。物語は、京都三條大橋から出発し江戸日本橋

を目指します。由留木家に伝わる二つの家宝「雷丸の剣」と「九重の印」を巡り、敵味方が追いつ追われつ、宿々を舞台に日本各地を駆け巡ります。中でも十二単を着た化け猫の宙乗りは必見。また、舞踊「写書東驛路」では、一人の俳優が13役早替りで演じ分ける演出が見ものです。

今公演では、本作で既に定評のある市川猿之助と進境著しい花形の坂東巳之助によるダブルキャストも話題です。エンターテインメント性に溢れた舞台を、どうぞご期待ください。



「獨道中五十三驛」のスタート、三條大橋界隈を歩いてみよう

**い** 旅館 池田屋跡  
尊王攘夷派志士を新撰組が襲撃した「池田屋事件」の地。

**は** 石柱  
天正年間の石柱。

**と** 擬宝珠  
天正と昭和時代のものが混在。池田屋騒動時の刀傷が付いているものもある。

**ち** 駅伝の碑  
日本初の駅伝「東海道駅伝徒競走」が開催されたのが大正6年。スタートは三條大橋だった。

**ぬ** 粟田口  
『獨道中五十三驛』で馬子に身をやつした丹波与八郎が馬を引いて歩いていたのが、この辺り。



**に** 弥次さん喜多さん像  
『東海道中膝栗毛』の主人公、弥次・喜多の像。物語では三條大橋近くの宿屋に泊まった際、ハシゴを買わされてしまうのだとか。

**ほ** 撫で石  
この石をなでて旅の安全無事を祈る。

**へ** 三條大橋  
東海道五十三次の始発・終着点であり交通の要衝。

**り** 道標  
延宝6(1678)年3月吉日と記された、京都市で最古の道標。「左 ちおんみん ざおん きよ水みち」と記され、旅人たちの重要な道案内になっていた。



**ろ** 京人形 小刀屋忠兵衛  
創業は明暦2(1656)年。当時は旅籠だったが明治以降に呉服店となり、現在は京人形店になっている。



## 15年を彩った人たち



2001年5月の柿落し公演から様々な方が京都芸術劇場 春秋座 studio21 で公演を行ってきました。3回シリーズで懐かしい舞台写真と共に振り返ります。

## 2008年—2010年



Photo: Shimizu Toshihiro

出演：維新派 **2008**

『nostalgia』—《彼》と旅をする20世紀三部作

大阪を拠点に、日本の現代演劇を引っ張ってきた松本雄吉。壮大な野外劇を得意とする彼の劇団維新派が、屋内劇場を使って立ち上げた大作を、こうして春秋座で上演できたことはほんとうに幸運だった。2013年には『石のような水』の演出家として再び春秋座へ帰ってきた松本さんが、つい先日、この世から旅立った。無念でならない。

——森山直人(主任研究員)



出演：淡路人形座 **2008**

淡路人形浄瑠璃

「若くて伝統がある」相反するこの言葉がしっくり来るのが淡路人形座の特徴であり強みだ。一度断絶してしまった歴史を復興するエネルギー、復活上演に斬新な演出で挑み続ける澁刺とした精神。2013年春秋座で上演した「賤ヶ嶽(しずがだけ)七本槍」では、戦の殺伐とした混乱を、人形遣いを敢えて見せる演出で観客から歓声と拍手があがった。

——大嶋英司(制作担当)



Photo: Shimizu Toshihiro

出演：観世鏡之丞 **2009**

春秋座 能と狂言『邯鄲』

2009年からはじまった渡邊守章企画・監修の「春秋座—能と狂言」は、今年1月の『道成寺』で7回を数え、すっかり定着した感があります。能は観世鏡之丞、狂言は野村万作・萬斎、囃子方もほぼ同じ顔ぶれの豪華版「劇場能」。写真の『邯鄲』はその2回目で、「この世は夢」というテーマに満員の見所が向き合ったひとときでした。

——天野文雄(舞台芸術研究センター所長)



出演：  
立川志の輔  
立川志の輔 独演会

国立劇場で上演された「中村仲蔵」を見て、歌舞伎劇場の機構を持った春秋座でもぜひと手紙を差し上げたのに対し、志の輔師匠が応えてくれた勇気こそ「志の輔らくご」の真髄だと思います。常に新しいものに挑戦し、意表をつく笑いを提供してくれる志の輔師匠は春秋座にとってかけがえのない人となりました。

——橘市郎  
(春秋座 顧問プロデューサー)

**2009**



Photo: Shimizu Toshihiro

振付・出演：白井剛、寺田みさこ **2010**

アガタ

客席に囲まれた白の空間で、男女二人が微細に様々な身振りを繰り返す。デュラスの『アガタ』を朗読する渡邊守章さんの艶やかな声が二人の身体を寄せ、離し、交わりあわせる。このような声の起源はどこにあるのだろうか。舞台は時に現代性も古典性も同時にひとつの罫罫の中に引き込む力を持っているのだと思わせる、なんとも繊細でエロティックな場、時間であった。

——山田せつ子(主任研究員)



Photo: Mario Del Curto

出演：ジャン=カンタン・シャトラン **2010**

演出：クロード・レジ 作：フェルナンド・ペソア

海の讃歌—ODE MARITIME—

本センターの使命には、海外の先鋭的な演劇作業を招き、自分たちの作業と対決させることがある。1923年生まれ、フランスの演出家、冬でも裸足にローファアのクロード・レジの『海の讃歌』はその典型だった。

——渡邊守章(主任研究員)

# 京都芸術劇場ニュースレター——特集

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 AUTUMN

## 水の駅 シアタールーツ & ウィングス

作：太田省吾

演出：シャンカル・ヴェンカテーシュワラン

11月12日(土)、13日(日) 両日 16:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

2010年秋に誕生した京都初の国際舞台芸術フェスティバル「KYOTO EXPERIMENT」。今年は春の開催に引き続き、「2016 AUTUMN」を、10月22日～11月13日まで開催します。身体を軸においた表現が際立った春のプログラムに対し、秋は演劇やテキストをベースとした表現に重心を置くことで、言語や論理といった世の中を規定する制度・枠組みについて思考するラインナップです。京都芸術劇場では2作品を上演。そのうち、舞台芸術研究センターとも深い繋がりのある太田省吾作、シャンカル・ヴェンカテーシュワラン演出『水の駅』をご紹介します。

舞台の中央に、把手の壊れた水道。その蛇口から細く流れつづけている水と水音——。長く日本の前衛演劇を牽引してきた劇作家・演出家太田省吾(1939-2007)の代表作『水の駅』(81年初演)は、そんな情景からはじまります。超スローで再生されたかのような、ほとんど無音の「世界」に、〈生命〉の深く豊かな蠢きを感じさせる「沈黙劇」は、これまで数多くの海外公演を重ね、日本の現代演劇を代表する名作として、国内外に広く知られてきました。俳優の大杉漣氏は、自分が出会ったなかで、最も重要な演出家だったと言っています。また、本学の太田門下からは、数多くの演劇人が輩出

されています。

そんな作品に今回果敢に挑戦するのは、新進気鋭の演出家シャンカル・ヴェンカテーシュワラン。南インドのケーララ州を拠点に、次々に舞台作品を世に送り出すばかりでなく、国際演劇祭の芸術監督として独自のプログラミングを行う、エネルギーに満ちた知性の持ち主です。しかも、日本で彼の作品が紹介されるのは、今回が初めて。急速な経済成長と伝統的な死生観とが混在する「インドの今」にあつて、演出家は「沈黙」のなかにどんな輝きを見出そうとするのでしょうか。

森山直人

演劇批評家／舞台芸術研究センター主任研究員

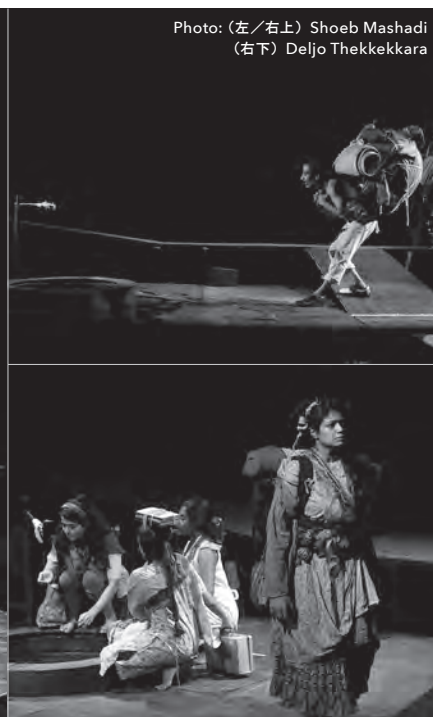


Photo: (左/右上) Shoeb Mashadi  
(右下) Deljo Thekkekkara

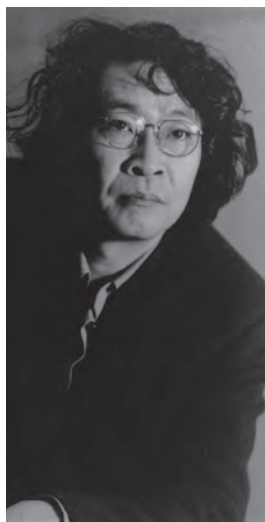
### シャンカル・ヴェンカテーシュワラン

1979年インド・ケーララ州カリカット生まれ。カリカット大学演劇学部を首席で卒業後、シンガポールの演劇学校シアター・トレーニング・アンド・リサーチ・プログラムに3年間留学。帰国後、シアタールーツ&ウィングスを旗揚げする。これまでに日本の舞台女優、美加理主演による『山脈の子』(2008)を含む、5作品を発表、インド国内にて高い評価を得ている。最新作はドイツのミュンヘン・フォルクスシアターにて演出を務めた『暗黒の日々』(16)。09年、国際交流基金 JENESYS プログラムにより来日、長野県松本市に3ヶ滞在。12年、国際イブセン奨学金受賞(ノルウェー)。現在は演出活動の傍ら、インド国内外の劇団や演劇学校にて、独自の俳優トレーニング法を取り入れたワークショップを開催している。15/16年、「ケーララ州国際演劇祭」の芸術監督を務めた。



### 太田省吾

1939年中国済南市に生まれ。1970～88年まで転形劇場を主宰。78年『小町風伝』で岸田國士戯曲賞を受賞。60年代という喧騒の時代に演劇活動を開始しながら、一切の台詞を排除した「沈黙劇」という独自のスタイルを確立する。代表作『水の駅』は沈黙劇三部作と称され世界各地で上演されている。また、『飛翔と懸垂』(75)、『裸形の劇場』(80)など、数々の演出論、エッセイを著している。転形劇場の解散後は、藤沢市湘南台文化センター市民シアター芸術監督、近畿大学文学部芸術学科教授を経て、00年の京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科開設や、同舞台芸術研究センターの開設に深く関わり、日本現代演劇の環境整備に力を注いだ。2007年67歳で逝去。



鼓童 ワン・アース・ツアー2016 ～螺旋<sup>らせん</sup>

9月3日(土) 14:00、4日(日) 13:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



Photo: 岡本隆史



春秋座で上演される『鼓童 ワン・アース・ツアー』としては3作品目となる『螺旋』は、芸術監督・坂東玉三郎さん演出のシリーズとして5作品目。そしてツアー皮切りとなる記念すべきコンサートです。どんな内容になるのか、また、鼓童の本拠地である新潟県佐渡島の魅力について、鼓童のプレイヤーである石塚充さんに伺いました。

になっています。すごく気持ちの良いコンサートになると思います。

**佐渡島という土地**

鼓童がある佐渡島は、本土から船で2時間ほど行った沖縄の次に大きな島です。研修所があるのは海岸から山の中に入った、ちょっと昔の日本人の生活風景が沢山、残っている所にあります。僕たちがやっている芸能は、そういう生活から出てきたものがほとんど。



夏の佐渡島

**新作『螺旋』**

この作品では、鼓童が昔から演奏してきた曲と、新しい曲を交互に演奏しながら螺旋状にどんどん進化していく様子を表現したいと思っています。同じところに戻ってくるのではなく、上っていく感じですね。

かといってベストアルバムのような雰囲気ではなく、以前からある曲も新しい解釈を加えて、新しい音楽としても楽しんでいただけるように考えて作っています。新曲もありまして、一つは「調律桶太鼓『奏』<sup>かなで</sup>」という太鼓\*を使った今までに無い演奏方法の作品。それから「螺旋」という、音が螺旋状に回っていくような大曲を作っています。この2曲が目玉ですね。

実際に稽古が始まってアイデアを足していったら、聞いたことのないような音色になってきました。でも今までで一番鼓童らしい、今の鼓童が出ている作品



佐渡島を代表する祭の一つ、鬼太鼓。

修行時代にこういう空気を感じながら芸能の勉強ができたことは、譜面を追いかけるだけじゃ得られない感性も磨かれたと思います。

それから僕は埼玉育ちで海が無かったので、今でも海を見ると「あ、海！」ってなるんです。テンションが上がって、パワーが出てきます。佐渡は海に囲まれているのに、すぐ山もある。そういう景色を見ていると、人間ってそんなに大きくないという事を毎日、感じさせられます。そして田んぼを見れば地に足を付けて農作業をしながら、きちんと暮らして

いる方がいる。

とにかくこの島は都会にないパワーがあります。そして村には先輩から代々伝わっている芸能も根付いている。そういう中っていると、こういう人達にはかなわないなあと感じる事が多くあります。その分、一生懸命やらなくてはという気持ちも生まれ、とても刺激になりますね。

\*世界初、両面で異なるチューニングが設定できる桶胴太鼓。鼓童 坂本雅幸が監修し、鼓童と浅野太鼓楽器店で共同開発。

※ロングバージョンを劇場HPにて掲載しております。併せてご覧ください。

**石塚充**

1999年研修所入所、2002年よりメンバー。家族全員が太鼓の演奏家という環境で、幼い頃から太鼓に囲まれて育つ。新人時代より主要演目に抜擢され、舞台では主に太鼓を担当。



## 水の駅、文化の旅

最近、アジアのアーティストやプレゼンターと出会い、作品を見る機会に多く恵まれるようになった（国際交流基金、特にアジアセンターが果たしている貢献は大きいといえるだろう）。私自身は、欧州・北米のフランス語圏の現代舞台芸術をこれまで研究してきたので、こうした出会いは非常に新鮮で刺激に満ちたものである。また、近年はガラパゴス化がよく言われるにしても、まず欧米に関心が向かうことがこれまで多かった日本とその舞台芸術にとっても、ひとつの大きな転機であるといえるだろう。

アジア地域のドラマトゥルクの集まりで出会ったシャンカル・ヴェンカテーシュワランは、インドのケーララ州国際演劇祭のフェスティバル・ディレクターを務めるとともに、自身もまた演出を手がけるアーティストでもあ

る。彼のフェスティバルは、グローバル化に抵抗するかのように、ヨーロッパのフェスティバル・サーキットには乗らないようなアーティストや作品を多く取り上げていると聞いた。アジアの演劇人の集まりにおいては、まくし立てるように早口で話す人も多いのだが、彼は考えをかみしめるようにして、物静かにゆっくりと話す。彼のなかには独特の時間が流れていて、私が見ている世界とは根本から異なる世界が、彼には見えているのではないかと思ひさえする。そんな彼が太田省吾の『水の駅』を演出した人物だと聞いて、妙に合点があった記憶がある。

太田省吾の『水の駅』は、壊れた蛇口から、あふれることなく流れ続ける一筋の水が、文字通りの中心となっている。そこにやってきては離れていく人々の姿を、言葉を介さずに、きわめ

てゆっくりとした身体の動きを通じて描き出す作品だった。慌ただしい時間の流れ、氾濫する情報、饒舌な言葉、娯楽としての演劇に抵抗して、沈黙、空虚、遅さを——それらを貫く強度とともに——対置した太田省吾の「抵抗」の思想と実践に通じる何かを、彼のなかに感じたのである。



藤井慎太郎

演劇学、文化政策学

早稲田大学文学学術院教授（演劇学、文化政策学）。主な著作に監修書『ポストドラマ時代の創造力』（白水社、2014年）、共訳書『演劇学の教科書』（国書刊行会、2009年）、共編著『演劇学のキーワードズ』（ベリかん社、2007年）など。『炎 アンサンディ』（シアタートラム、2014年）の翻訳も担当した。

## 伝統芸能の再創造

いわゆる「伝統芸能」が、それが出来上がった時のままの姿で、三百年、五百年継承され続けてきたものではなく、それぞれの時代によって変わってきたのだ——ということがやっと「常識」になって来たようだ。

芸能文化と言ってもいいのだが、それを鑑賞し支持する人の好みによって、時代と共に新しく生まれてくる。有形文化財はそれで説明がつくが、無形文化財の方は、もともとのが残って、その一部だけが変わってくるので厄介である。能や歌舞伎のように、その演出、様式が洗練されてくると、どこが、何時頃どう変わったのか、一寸見当が付きにくい。現代舞台で演じられているものでも、そう簡単に指摘できない。はっきり「新しさ」を企画した舞台であっても、見事なまでに古い演出の中にとけこんでいる。

だから逆に、原作が一見して明らかに

間違っている、なかなかその間違いが訂正されない。新作や稀に旧作を復活させる場合は、非常に慎重だが、現行曲は崩しっぱなしである。

伝統演劇を再創造するには、完成された演出を修正することが、実に厄介である。古典の再検討の基礎になるのば「原作」である。その作品を書いた作者の意図を、どこまで忠実に現代に再現するかである。それを目指さない限り、古典を上演する目的はない訳である。

長い間かかって洗練されてきた様式、典型的な型を尊重して、原作再検討を中途半端な形でとどめるか、そうした歴史を無視して、ひたすら原作のテーマを追うかである。それが両立するに越したことはないが、その作業が実に時間と努力と経費がかかるが、数多くの実験的な舞台にかかわって来た経験を持つだけに、その実験の難しさが私にはよくわかる。

せめて、原作をじっくり読むところから出発してほしい。実演者にもそれを望むのである。いま木ノ下裕一君（木ノ下歌舞伎）が歌舞伎を取り上げ、原作通りではあるが演出を現代風にとという試みに挑戦している。観客の側にまだ戸惑いがあるようだが、実験として持続してほしい。



権藤芳一

演劇評論家

1930年京都に生まれる。同志社大学文学部卒業。武智鉄二の主宰する演劇雑誌『演劇評論』の編集を担当すると共に、師の演劇助手を務める。京都観世会館の建設に伴い、事務局局長として迎えられ、30年勤務。1989年退社。大阪学院大学国際学部で日本芸能史を構。定年退職後、演劇評論家として活躍。

8

August 2016

□ 演劇/主催公演

11日(木・祝) 13:30 ◆春秋座

オックスフォード大学演劇協会(OUDS) 来日公演  
夏の夜の夢 英語上演・日本語字幕あり

【発売中・全席指定】  
一般 2500円 友の会 2000円 学生&ユース 2000円  
高校生以下 1000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。

T-C OTS ぴあ e+ 生協

9

September 2016

□ 和太鼓/主催公演

3日(土) 14:00、4日(日) 13:00 ◆春秋座

鼓童 ワン・アース・ツアー 2016 ~螺旋◆特集▶P.05

【発売中・全席指定】  
一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5700円  
学生&ユース 3000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。

T-C OTS ぴあ e+ KBS 新聞 生協

□ ピアノコンサート/共催公演

10日(土) 15:00 ◆春秋座

レ・フレール スペシャルコンサート

独創的な楽曲と斬新かつ繊細なプレイスタイルで  
世界を席巻する兄弟ピアノデュオが春秋座に  
初登場します。



【発売中・全席指定】  
一般 5500円 友の会 5000円  
学生&ユース 3500円  
※3歳以下1名まで保護者膝上無料。  
4歳以上、または座席が必要な3歳以下のお子様はチケットが必要です。

T-C OTS ぴあ 新聞 (一般社団法人) 達人の館 075-708-8930

10

October 2016

□ 演劇/主催公演

1日(土) 17:00、2日(日) 14:00 ◆春秋座・特設客席

※ロビー開場は開演30分前。開演10分前に客席への入場開始  
※1日終演後ポスト・パフォーマンス・トーク 出演:川村毅×松岡和子(翻訳家)さん

ティーファクトリー公演  
荒野のリア

構成・演出:川村毅  
出演:鷹赤兒、手塚とおる、他  
原作:W.シェイクスピア『リア王』(松岡和子訳)  
川村毅×鷹赤兒によるリア王。初演時、  
大反響を呼び起こした作品が新たな  
キャストを加えて京都に初登場します。



【発売中・整理番号付自由席】  
一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円  
学生&ユース 2000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
★2日(日)公演は託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 古典/主催公演

8日(土) 11:00/16:00、9日(日)~11日(火) 11:00 ◆春秋座

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム ◆特集▶P.01、02  
春秋座大歌舞伎 獨道中五十三驛

【発売中・全席指定】  
一般 9500円 友の会 8500円 シニア 9000円 完売  
学生&ユース席 3500円 追加販売の有無につき  
ましては9月1日(木)に  
HPで告知いたします。  
★9日(日)と10日(月・祝)の各公演は託児サービスあり  
(詳しくは劇場HPをご覧ください)。  
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

T-C 生協

11

November 2016

KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMN □ 演劇/主催公演

3日(木・祝) 19:00、4日(金) 17:00 ◆春秋座・特設客席

5日(土) 19:00、6日(日) 14:00 ※3・5日ポスト・パフォーマンス・トークあり

木ノ下歌舞伎『勸進帳』

監修・補綴:木ノ下裕一 演出・美術:杉原邦生  
出演:リー5世、坂口涼太郎、高山のえみ、  
岡野康弘、亀島一徳、重岡漢、大柿友哉



photo: Takeshi Yamada

12日(土)、13日(日) 16:00 ◆春秋座・特設客席

※13日ポスト・パフォーマンス・トークあり

『水の駅』 シャンカル・ヴェンカテシュワラン/ ◆特集▶P.04  
シアタールーツ & ウィングス

【発売日:8月8日(月) 11:00・全席自由】  
一般、シニア・学生・ユースの当日券は500円増し  
一般 3000円 学生・ユース・シニア(65歳以上) 2500円  
高校生以下 1000円 ペア 5500円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
★4日(金)、6日(日)、12日(土)、13日(日)公演は託児サービスあり  
(詳しくは劇場HPをご覧ください)。

T-C OTS ぴあ e+

KYOTO EXPERIMENT チケットセンター(セット券あり) 075-213-0820  
ロームシアター京都チケットカウンター 京都芸術センター 窓口

□ 落語/主催公演

18日(金) 18:00、19日(土) 15:00、  
20日(日) 13:00 ◆春秋座

立川志の輔 独演会

【友の会先行発売9月6日(火)、一般発売7日(水)・全席指定】  
一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円  
学生&ユース席 2000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
★20日(日)公演は託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。

T-C OTS ぴあ e+ 生協 新聞

□ 講演・レクチャー

日本芸能史  
15周年記念「日本芸能史の古代・中世と近世」後期

会場:京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)  
毎回:月曜日 16:30~17:50  
後期(全14回)9月26日(月)~2017年1月16日(月) 受講料:14,000円  
問い合わせ:京都造形芸術大学 京都藝術学会  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 人間館中 2 階  
Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021(月~土曜:10~16時)

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア e+ イープラスー http://eplus.jp

ぴあ チケットぴあー http://t.pia.jp TEL.0570-02-9999

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F) TEL.075-256-0007(窓口のみ10-17時※土・日・祝除く)

KBS KBS 京都事業部 TEL.075-431-8300(電話のみ10-17時※土・日・祝除く)

\*記載のないものについての開場は開演 30 分前

\*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金

\*ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象(一部公演を除く)

\*学生・ユース・シニアは要身分証明書提示

本年5月、春秋座の初代芸術監督である三代目市川猿之助(二代目猿翁)より、京都造形芸術大学に歌舞伎関係の資料を寄贈いただきました。これは映像約2500本、書籍約7700冊、公演パンフレット約1400冊、その他膨大な台本、舞台写真などで、三代目猿之助の偉業だけでなく、昭和、平成の歌舞伎の歩みを知ることができる貴重なものです。

今回、そのお披露目として、寄贈映像を通して三代目猿之助の軌跡を振り返るフォーラムを開催いたします。

《プログラム》 進行：市川笑三郎

1. 「三代目猿之助と春秋座」対談  
市川右近×徳山豊(学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学 理事長)
2. 「三代目猿之助の仕事」石川耕士(脚本家)
3. 「三代目猿之助の功績～スーパー歌舞伎」四代目市川猿之助



#### 【チケット申し込み方法】

入場無料

往復はがきにて申し込み ※申込多数の場合は抽選

【申込〆切】2016年8月22日(月) 必着 全席指定  
※座席はお選びいただけません。

【結果通知】8月末日までに当落結果をご返信いたします。当選された方へのお葉書には座席番号を明記いたします。※当日、入場時に返信ハガキをご提示いただきますので、必ずご持参ください。※返信はがきをお持ちでない場合、入場をお断りする事がございます。予めご了承ください。

#### 《往信表面》

〒606-8271

京都市左京区北白川瓜生山2-116  
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター  
「9/24フォーラム」係宛

#### 《往信裏面》

- ①代表者ご氏名
- ②ご住所(郵便番号含む)
- ③お電話番号(日中の連絡が可能なもの)
- ④参加人数(2名まで)

#### 《返信表面》

お客様のご住所、お名前をご記入ください。

#### 《返信裏面》

白紙

## 募集中!

### 【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様2~4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- ⑤ 10年以上ご継続の会員様はプレミアム会員として、さらにお得な特典が受けられます。

《入会方法》 どちらかの方法をお選びください。【年会費 2000円/有効期限・入会日より1年間】

1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

#### 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100円程かかります。)

【口座番号】 00970-7-176517 【加入者名】 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

【通信欄】 ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

【ご依頼人】 お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

### 【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

#### カーテンコール

京都芸術劇場は今年、15周年を迎えました。劇場HPでは特設サイトを開設し、様々な特別インタビューや対談を企画しております。こちらもニュースレターと併せてぜひご覧ください。[S]

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学  
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

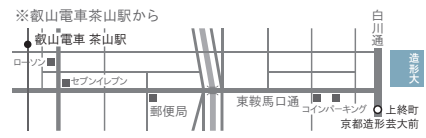
tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

E-mail: [k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp](mailto:k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp)

京都芸術劇場

検索



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5号系統「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204号系統銀閣寺行に乗車(約15分)  
「上終町・京都造形芸大前」下車

● 京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。

※所要時間はあくまで目安です。交通事情により  
大きく変動します。

発行/編集

京都造形芸術大学  
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター  
vol.35 発行日—2016年8月1日